

まちの話題

熱気あふれる夏まつり

8月13日～15日、「第34回松前城下時代まつり」が開催されました。

毎年恒例のバイク武者軍団パレードで幕を開け、城下通り祭りや納涼花火大会、城下盆踊り大会などが行われたほか、アワビつかみ取り、松前城プロジェクトジョン・マッピングなども行われ、町民や帰省客、子どもも大人も熱気にあふれる夏の松前を存分に楽しみました。



バイク武者軍団パレード(13日)

また、盆踊り大会には、

福島町で夏合宿中の九重部屋力士の方々が、抽選会や盆踊りに参加してくださり、会場を盛り上げていただきました。



抽選会に参加して頂いた九重親方(元大関千代大海)



城下盆踊り大会(15日)

北海道指定無形民俗文化財に指定されている唐津「求福山」が6年ぶりに運行され、松城「寶丸」と併せ、2台の山車がまつりを彩りました。



松城「寶丸」



唐津「求福山」

山車行列(14日)



間近で上がる迫力満点の花火(13日)



松前城プロジェクト・ジョン・マッピング(14日)



小学生以下「アワビつかみ取り」(15日)

夏を彩るあじさい祭り

8月4日、松前神社前広場で「あじさい祭り」が開催されました。

ライトアップされた松前城や松前神社周辺は、幻想的な雰囲気になりました。あじさいで飾られた野外舞台での松前神楽や、歌謡ショーなどで大変賑わいました。

なお、昨年の模様を、3月にBS12「ガイドドリジョン」スペシャル日本の祭り」で全国に放映されましたが、この度、平成29年度上半期の「ふるさとPR大賞」を受賞しました。



笑顔にあふれた
松前町成人式

8月13日、パートナーシッププランドで成人式が行われました。

今年度に20歳を迎える新成人は、86名で、そのうち60名が出席しました。

式典では、宮崎瞭太さん（松城）が町民憲章を読み上げ、福井弘樹さん（江良）が新成人を代表して誓いの言葉を述べました。



福井 弘樹さん



宮崎 瞭太さん

式典の前には、新成人たちが毛筆で「20歳の決意」を半紙に書いたためました。

出席した新成人は、久しぶりに会う同級生と談笑しながら記念写真を撮ったり、中学、高校時代の写真のスライドショーを見て懐かしんでいました。



図書購入のため
寄附をいただきました

8月9日、松前商工会青年部（部長・佐藤光）と松前町職員労働組合連合会青年婦人部から町立図書館の図書購入に役立ててほしいと寄附をいただきました。

これは、7月のプレミアムフライデーに併せて行われた商工会青年部主催のビアガーデンの売り上げの一部を寄附していただいたもので、佐藤部長は、「冬には新イベントも考えています。これからもまちを盛り上げる活動をしていきたい」と話していました。



創立100周年の北洋銀行
から記念品をいただきました

8月7日、創立100周年を迎えた北洋銀行から町へ記念品が贈呈されました。

日尾松前支店長は、「100年を迎えることができ、町民の皆さまに感謝しています。今後も愛される銀行を目指してがんばりたい。」と話していました。



函館競馬場で
「松前特別」を開催

7月23日、JRA函館競馬場で、第10競争「松前特別」が開催され、勝利関係者への表彰式に、石山町長がプレゼンターとして登場し、馬主や騎手に記念のトロフィーを贈呈しました。

また、場内では、あさみ商店による「当地グルメ」松前漬やきそばなどの販売も行われ、町のPRに一役買いました。



石山町長と、松前特別を「バルデス号」で制したC・ルメール騎手

**高校書道部 吉田朱伽さん
高校生最大の文化祭で活躍**

7月31日から8月4日、宮城県仙台市で行われた第41回全国高等学校総合文化祭に吉田朱伽さん（松前高校書道部3年）が出場しました。

吉田さんは書道の部に漢字仮名交じりの作品を出品し、全国18作品の中から第2位に選ばれ、特別賞の「菅公賞」が贈られました。



吉田さんの作品
「北壁を纏ふ 再興を願ひ
北の砦を守る藩主」

**子どもの集い
松前町の夏を満喫**

7月30日、松前町交流の里づくり館で、渡島管内地域子ども会育成連絡協議会（会長・堺繁光）主催の「子どもものつどい」『松前の海で遊ぼう』が開催され、七飯町・八雲町・松前町の小学生と保護者61名が参加しました。

当日は、天候に恵まれ、子どもたちは海水浴を楽しんだほか、町内の外国語指導手のマックス先生による「英語での読み聞かせ」や、もっこの会の上保武夫さんによる「孫もつこづくり体験」を楽しみました。



地域貢献に感謝

地域貢献していただいた、方々に対し、町長から感謝状が贈られました。

漁港内の流木撤去

株式会社菅原組（代表取締役・菅原修）が赤神漁港内の流木撤去作業を重機により協力していただきました。

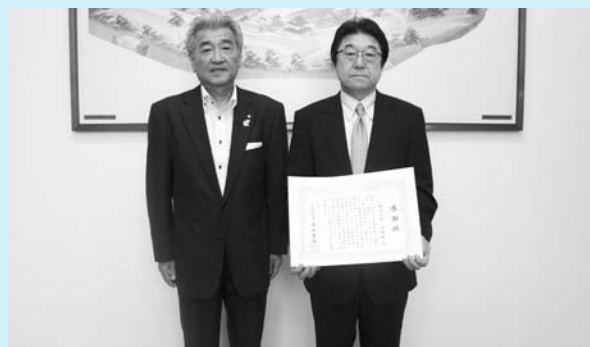
これにより、漁業及び漁船への被害を防ぐことができました。



漂流船を引き上げ

株式会社石岡組（代表取締役・石岡眞）が清部沖合で転覆漂流していた国籍不明船舶を作業船や潜水夫の協力により、清部漁港内に引き上げていただきました。

これにより、漁業者や航行船舶の安全確保、漁場への被害を防ぐことができました。



松前港をキレイに

三協機械建設（代表取締役・早瀬智幸）が地域貢献の一環として、松前港内の草刈りや清掃を行っていただきました。

港を利用する漁業関係者は、キレイになったと喜んでいました。



町内会活動の功績をたたえて

7月25日、永年にわたり町内会役員として、地域のために尽力された6名の方に町長から感謝状が贈られました。

また、松前警察署長から防犯功労者表彰が伝達されました。(敬称略)

■松前町長感謝状

- 高橋 誠 (館浜)
- 佐藤 要一 (館浜)
- 高橋 政義 (館浜)
- 吉村 友宏 (荒谷)
- 菊池末太郎 (荒谷)
- 故渡邊 元 (札前)

■函館方面防犯協会

- 連合会防犯功労者賞
- 寺田 嘉弘 (札前)



コミュニティ助成事業でイベント用品を購入

原口町内会では、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業により、折りたたみテーブル22台とイス110脚、フタタッチテント2張を購入しました。

この事業は、同センターが全国自治宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源として、住民の行うコミュニティ活動を促進し、その健全な発展を図るとともに、宝くじの社会貢献広報を目的に行われています。



今回のイベント用品の整備

よって、円滑なイベントの実施を図り、町内会の親睦と交流が一層深まることで、コミュニティ活動の普及や住民意識の高揚に大きな効果が期待されます。



原口町内会盆踊り大会(8/13)



命を守る早めのライトと反射材 ～事故にあわない・おこさない～


秋の全国交通安全運動

期間：9月21日(木)～9月30日(土)

夕暮れ時と夜間の歩行中や自転車乗車中の交通事故に気をつけましょう

運動の重点

- ◎飲酒運転の根絶
- ◎子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- ◎夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故防止
- ◎すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底



これからの季節は、日没が早まり、夕暮れ時から夜間にかけての歩行者事故が多発します。

交差点では速度を落とし、安全を確認するなど交通事故の防止に努めましょう。

高齢者の事故を防ぐために

日常生活圏内の身近な道路の交差点は、見慣れているため、警戒心や安全確認の意識が乏しくなります。このことを改めて認識し、必ず自分の目で安全を確認してから通行しましょう。